



てき丸君News 第6号

発行：公益社団法人全国産業廃棄物連合会

〒106-0032 東京都港区六本木3丁目1番17号

TEL 03-3224-0811

FAX 03-3224-0820

<http://www.zensanpairen.or.jp>

全国正会員事務局責任者会議 8月1日に開催

当連合会の全国正会員事務局責任者会議を、8月1日に東京・港区のアジュール竹芝で開催しました。今回の事務局責任者会議は、①平成26年度事業運営の概要について②許可講習会Web申請について③低炭素社会実行計画作成について④水俣条約関係について⑤労働安全衛生法改正について⑥その他報告事項、の6項目を議題とし、各議題に関する連合会担当者からの説明・報告、会議に出席された事務局責任者との意見交換等を実施しました。

これらの議題のうち、「平成26年度事業運営の概要について」では、当連合会の7月理事会で承認された委員会委員及び部会運営委員の名簿紹介（てき丸君News第5号にて既報）や、当連合会会長表彰の規則改定に関する内容の説明、本年11月7日に岩手県盛岡市で開催する「第13回産業廃棄物と環境を考える全国大会」の進捗状況の報告等を行いました。

また、当連合会の本年度事業計画における重点事項の一つである「産業廃棄物処理業の業法を含めた振興策の検討」について、この検討を継続的かつ具体的に進めるため、法制度対策委員会のもとに産廃処理業者及び学識者等で構成される作業組織（タスクフォース）を設置する予定であることを説明しました。法制度対策委員会において設置が了承されれば、タスクフォースでは都道府県協会を対象とするアンケート等を計画しており、事務局責任者に対して協力をお願いしました。（総務部・古川）

委員会・部会便り

●法制度対策委員会及びタスクフォース

法制度対策委員会は、平成26年度第1回委員会を8月7日に開催しました。今回の委員会における主な議題は、①法制度対策委員会の役割等について（確認事項）②産業廃棄物処理業の業法を含めた振興策の検討及びタスクフォースの設置について③関係法制度の最近の動きについて（主な廃棄物・リサイクル対策関係法令、災害廃棄物対策関係、水銀に関する水俣条約等）④今後検討すべき事項及びスケジュールについて、の4項目です。委員会では、産業廃棄物処理業の業法を含めた振興策の検討を進めるための作業組織（タスクフォース）の設置が了承されました。また、今後の委員会のスケジュールとしては、当面は災害廃棄物対策の法制度上の課題に関する検討を最優先の事項とし、廃棄物処理法の次期の改正を睨んだ準備も進めていくこととされました。

なお、委員会にて設置が了承されたタスクフォースは、同日、法制度対策委員会終了後に第1回目を開催しました。第1回会合時点でのタスクフォースメンバーは、加藤三郎（座長、NPO法人環境文明21共同代表）、藤村コノエ（3R活動推進フォーラム理事）、橋詰博樹（多摩大学教授）、川本義勝（全産廃連政治連盟業法担当理事）、杉田昭義（杉田建材常務取締役）、加藤宣行（加藤商事代表取締役社長）、島田康弘（市川環境エンジニアリング秘書役）の各氏です。（総務部・古川）

●中間処理部会

中間処理部会は、平成26年度第2回運営委員会を8月26日に開催しました。議題は、昨年度で活動を終了したリサイクル推進委員会の事業の引き継ぎ、水俣条約、カドミウムの処理基準の見直し等を検討しました。（調査部・日浦）

官公庁関係ニュース

●水俣条約に関する国の動向について

【水銀大気排出対策小委員会の審議状況】

第5回小委員会が平成26年8月18日に開催され、「水俣条約を踏まえた今後の水銀大気排出対策について（答申）骨子案」が示されました。

第6回小委員会（9月26日）と第7回小委員会（10月末予定）では、「水俣条約を踏まえた今後の水銀大気排出対策について（答申）案」を検討し、その後は答申（案）についてパブリックコメントの実施、年内に最終取りまとめの予定とされています。

なお、環境省は、産業廃棄物焼却施設の排ガス等中の水銀濃度の実態を把握するアンケート調査及び実測調査を行う予定としています。各正会員の傘下会員がその調査対象となる場合には、協力いただきますよう、連合会からもお願い申し上げます。

<http://www.env.go.jp/council/07air-noise/yoshi07-09.html>

【水銀廃棄物適正処理検討専門委員会の審議状況】

第3回専門委員会が平成26年8月28日に開催されました。本専門委員会では、第2回専門委員会での議論を踏まえて修正した「水銀廃棄物の処理に関する論点と考え方（案）」が示され、これについての議論がなされました。第4回専門委員会は9月以降に開催される予定で、報告書は年内に取りまとめられる見込みとなっています。（調査部・日浦）

●「建設リサイクル推進計画2014」が公表

国土交通省は、「建設リサイクル推進に係る方策（8月13日公表）」を受け、建設リサイクルの推進に向けた基本的な考え方、目標、具体的施策をとりまとめた「建設リサイクル推進計画2014」を策定し、9月1日に公表しました。（調査部・戒能）

http://www.mlit.go.jp/report/press/sogo03_hh_000072.html

【環境省】

◇「低炭素杯2015」募集開始について

<http://www.env.go.jp/press/press.php?serial=18516>

◇平成27年度環境省概算要求 主要新規事項等の概要

<http://www.env.go.jp/guide/budget/h27/h27-gaiyo.html>

青年部協議会活動の紹介

7月25日に青山ダイヤモンドホールにおきまして、青年部協議会第15回通常総会を開催しました。第1号議案：平成25年度事業報告承認の件、第2号議案：平成25年度収支決算報告承認の件、平成25年度監査報告、第3号議案：平成26年度事業計画案承認の件、第4号議案：平成26年度収支予算案承認の件、第5号議案：会則の一部改正の件、以上5議案全てご承認を頂きました。

通常総会後は、環境省大臣官房廃棄物・リサイクル対策部産業廃棄物課の外山洋一課長補佐（当時）に「産業廃棄物行政の現状と課題について」をご講演いただきました。

その後の懇親会では全国会員が懇親を深めることができ、中部ブロックの皆さんによる第9回全国大会のPRの後、盛会のうちに終了しました。

📎 第13回全国大会に関するお知らせ

本年11月7日に岩手県盛岡市で開催する「第13回産業廃棄物と環境を考える全国大会」のサイトを連合会ホームページに掲載（下記）しました。

また、京都大学の酒井先生にご依頼しております基調講演のテーマが「廃棄物からみた社会システム～災害廃棄物を中心に～」に決まりました。

<http://www.zensanpairen.or.jp/taikai13/>

平成26年度産業廃棄物処理実務者研修会のお知らせ

1. 目的

この研修会は、産業廃棄物を取り扱う方々の実務に必要な委託契約、マニフェスト（産業廃棄物管理票）、帳簿等の産業廃棄物の幅広い基礎知識を学び、初心者から経験者まで、多くの方々に知識の習得、再認識をしていただくことを目的としております。

2. 受講対象者

排出事業者及び処理業者における産業廃棄物を取り扱う実務担当者

3. 開催期日

	開催地	開催期日	会場名	定員
1	山形県	平成26年 9月 18日 (木)	ヒルズサンピア山形	100
2	福井県	平成26年10月 8日 (水)	ユニオンプラザ福井	100
3	三重県	平成26年10月 16日 (木)	四日市商工会議所会館	120
4	東京都	平成26年11月 18日 (火)	ベルサール西新宿	150
5	群馬県	平成26年11月 28日 (金)	群馬建設会館	150

4. 研修内容 受付は9:30からです。

10:00	12:00	12:50	14:30	16:00	16:30
産業廃棄物処理の基礎	昼休み	産業廃棄物の委託処理と委託契約	産業廃棄物管理票・帳簿	質疑応答・修了証の交付	

すべての科目を受講し、研修会を修了された方には、修了証を交付いたします。

5. 受講料 7,200円（税込）（テキスト代を含みます。）

実施機関 (公社) 全国産業廃棄物連合会

協力機関 (一社) 秋田県産業廃棄物協会、(一社) 山形県産業廃棄物協会、(一社) 茨城県産業廃棄物協会、(公社) 群馬県環境資源保全協会、(一社) 千葉県産業廃棄物協会、(一社) 東京都産業廃棄物協会、(公社) 神奈川県産業廃棄物協会、(一社) 福井県産業廃棄物協会、(一社) 三重県産業廃棄物協会

・継続学習制度(CPDS)の講習会に認定されました。((一社)全国土木施工管理技士連合会)
 ・本研修会は、下記CPD制度の共通認定プログラムです。
 建築CPD情報提供制度、JIA CPD制度、建築士会CPD制度、建築設備士関係団体CPD制度、APECアーキテクト、APECエンジニア

【受講申込・問合せ先】

受講を希望される方は、(公社)全国産業廃棄物連合会のHP (<http://www.zensanpairen.or.jp>) からインターネット申込みをしていただくか、又は下記までお問い合わせ下さい。

<問合せ先> (公社)全国産業廃棄物連合会事業部 TEL 03-3224-0811 FAX 03-3224-0820

セミナー・イベント

◇低炭素社会シンポ11月に大阪・東京で

鳥取環境大学と(株)廃棄物工学研究所は、

「低炭素社会の実現へ向けて～廃棄物処理と余熱利用～」をテーマにシンポジウムを開催します。日程は、大阪会場が11月14日に御堂会館(大阪市中央区)、東京会場が11月21日に主婦会館(東京都千代田区)。

内容は、環境省廃棄物・リサイクル対策部廃棄物対策課の和田篤也課長による「廃棄物処理と余熱利用推進策」の基調講演のほか、産業廃棄物関係では「産業廃棄物焼却施設の余熱利用」の事例紹介(三光株式会社・三輪陽通代表取締役社長)が行われます。また、鳥取環境大学サステイナビリティ研究所

の田中勝所長がコーディネーターを務めるパネルディスカッションも開催されます。詳しくは、運営事務局(☎086-239-5303)まで。

◇「RADIEX2014」24日から科学技術会館で

環境新聞社は、「PRADIEX2014ー環境放射能対策・廃棄物処理国際展ー」を今月24日～26日まで、東京都千代田区の科学技術会館で開催します。同展示会は環境放射能対策に特化した専門展示会で、今回で3回目の開催となります。

展示の内容は、放射能対策、放射性物質汚染廃棄物処理等のゾーンごとに関係機器・技術が紹介されます。

詳しくは、同社事業部(☎03-3359-5349)まで。公式サイト <http://www.radiex.jp>

平成26年度産業廃棄物処理業従事者能力アップセミナーのお知らせ

以前、ご連絡させて頂きました「平成26年度産業廃棄物処理業従事者能力アップセミナー」を6月30日より受付開始後、営業コースの東京会場は定員となり、また現業管理コースの東京会場も、まもなく定員となります。その他の会場につきましては、まだ余裕がございますので、受講希望の方がおられましたら、当連合会HPからインターネット申込みを頂くか、あるいは参加申込用紙を入手の上、申込手続をして下さるようにご案内頂きたく存じます。

【日程】

◎営業コース			
開催日	開催地	会場名	定員
平成26年10月2日～3日	東京	連合会会議室	満員
平成26年10月23日～24日	名古屋	吹上ホール	各会場 30名
平成26年12月4日～5日	東京	連合会会議室	
平成26年12月11日～12日	大阪	大阪商工会議所	
◎現業管理コース			
開催日	開催地	会場名	定員
平成26年10月30日～31日	大阪	大阪商工会議所	各会場 30名
平成26年11月13日～14日	名古屋	吹上ホール	
平成26年11月26日～27日	東京	連合会会議室	

【カリキュラム】すべての科目を受講し、研修会を修了された方には、修了証を交付いたします。

	営業コース	現業管理コース
講義	<ul style="list-style-type: none"> 産廃処理事業の経営戦略と社員への期待（仮題） 営業社員の基本的役割（マーケティングの基本を含む） プレゼンテーションの基本 	<ul style="list-style-type: none"> 産廃処理事業の経営戦略と社員への期待（仮題） 操業管理、設備保全、原価管理 プレゼンテーションについて 安全衛生管理概論
グループワーク	<ul style="list-style-type: none"> 自社紹介 顧客情報管理シートの作成 ケーススタディ、グループワーク 	<ul style="list-style-type: none"> 自社紹介 自社施設における安全風土づくり ケーススタディ、グループワーク

【受講申込・問合せ先】全国産業廃棄物連合会HP (<http://www.zensanpairen.or.jp>) をご覧頂くか、事業部/能力アップセミナー担当・横山（TEL 03-3224-0811）までご連絡下さい。

※本セミナーは、各都道府県等の人材育成支援制度や継続学習制度（CPDS。ただし現業管理コースのみ）、その他CPD制度に活用できます。

主な行事予定

◇9月の行事予定

- 3日（水） 産業廃棄物処理実務者研修会（茨城）
- 11日（木） 第1回安全衛生委員会
- 17日（水） 第2回タスクフォース
- 18日（木） 産業廃棄物処理実務者研修会（山形）
- 25日（木） 第2回最終処分部会運営委員会

●INDUST9月号特集「収集運搬の高度化」のご案内

省エネ型車両の導入に国庫補助が付き、鉄道や船舶輸送などへのモーダルシフトが推奨されています。企業の自主的な努力としては、すでにデジタルタコグラフなどの運行状況をモニタリングする設備が多数の産業廃棄物処理現場で導入されており、今後も運輸技術の革新と並行して収集運搬の高度化は加速度的に進むと思われます。試みに同設備の導入効果を見れば、年間の燃料使用量が5%改善する事例があり、省エネ型車両のそれに至っては燃費が20%超改善した事例があります。収集運搬の高度化による業務改善は企業の利益確保にとっても強力なサポートになるはずです。そこで、今号では収集運搬の高度化を特集します。

（事業部・東方）